

令和5年度 第3回 学校運営協議会 記録

○期 日：令和6年1月18日（木）

○時 間：9時45分～10時20分 授業参観

10時30分～11時35分 会議

○場 所：会議室

○出席者：学校運営協議会委員5名 A委員（教育関係者）
B委員（社会福祉関係者）
C委員（地域関係者）
D委員（地域企業関係者）
E委員（町内会関係者）

学校関係者5名 校長、副校長2名、事務長、総括教務主任

欠席者：F委員（生徒保護者）、G委員（地域関係者）

<会議次第>

- 1 開 会
- 2 校長挨拶
- 3 出席者自己紹介
- 4 議題
 - (1) 学校評価について
 - (2) 地域との協働による教育活動について
 - (3) 令和6年度の日程について
 - (4) その他
- 5 提 言（意見・要望・感想等）
- 6 連 絡
 - ・今年度、今後の日程について
- 第4回 3月に書面にて（次年度の学校経営計画骨子案の提案）
- 7 閉 会

1 開会（事務長）

2 校長挨拶

今年は年始早々能登地方での震災があり、大変な幕開けとなった。本校でも先日の全校集会で児童生徒に被災地を悼み、応援する気持ちをもってすごそうと話したところである。同時に明日は我が身という気持ちで、家庭や学校における防災について改めて意識を高めていかなければならないと確認させられた。

本校の子どもたちの活躍について2点報告させていただく。1つ目は、小学部5年のSさんだが、今年度「いわて家庭の日」絵画・絵日記コンクールで優秀賞として表彰を受けたことである。特別支援学校では唯一の受賞であった。（絵を紹介し）堀切地区のみこし交流での様子を描いていた。2つ目は、高等部3年のOさんだが、鹿児島島で行われた全国障がい者スポーツ大会にソフトボール投げで出場し、66mの記録を出して見事3位、銅メダルに輝いたことである。

以上の報告をもって校長挨拶に代えさせていただく。

3 出席者自己紹介

本日は初対面となる出席者がいないため、割愛する。

4 議題

(1) 学校評価について・・・資料のとおり

【質問・意見】

D委員：アンケートの回収率が高いので、評価についても精度が高いと見受けた。

情報発信については、なかなか難しいことだと思う。学校としてはいろいろ発信してやってはいると思うが、今度は受取る側への働きかけ（どのようにキャッチアップさせていくのか）が重要になってくるのではないかな。

校務処理の効率化・簡素化について、教育の世界では難しいと言うより「課題」だと思う。企業と違い、教育は人を相手にしている仕事であるから、安易に効率化・簡素化だけにこだわらず、優先順位をつけながら、焦らず少しずつ慎重に改善策を検討して行ってほしい。

副校長：本校は当番業務も多いのが現状。それが負担感にもつながっている一つの要因になっている。昨年度からも少しずつ業務軽減等の改善を図って取り組んでいるところだが、なかなか難しいところである。何か具体的な対策案などのアドバイスはないかな？

D委員：民間的思考でいうと、業務の効率化とサービスの質は反比例しているものだと考える。つまり、効率化が上がればサービス（教育）の質は下がってしまうと思われる。しかし、保護者に丁寧に説明をして、理解をいただければサービスの低下には当たらないだろう。そういったことも踏まえて、慎重に少しずつ進めていく必要があるのではないかな。

C委員：保護者アンケート集計表10番目の項目の結果の赤字表記の意味は？

副校長：在籍実数と回答数に矛盾が生じている箇所である。本来は寄宿舎生の保護者のみが回答する項目だったが、おそらく通学生の保護者も回答してしまったようだ。

C委員：高等部生徒アンケート集計の9番・12番・15番の項目については先生方にかかわ

る課題なので改善策をいろいろ検討できると思うが、6番目の項目の評価については、重要視すべき点だと思う。どのように指導・対応していくのか？

副校長：これについては9番の課題にも関わってくるのだが、高等部担当の副校長から何か回答はあるか？

副校長：本校では年に2回いじめに関するアンケート調査を実施している。そこで、生徒たちの人間関係に関わる悩みなどを把握し、対応している。また、今後は一人一台のタブレット端末からも個々に相談できるような体制も整えているところである。

(2) 地域との協働による教育活動について・・・別紙のとおりスライドで紹介

E委員：堀切神輿や交流会など町内会でも楽しく協力させてもらっている。交流会について今回2月8日に2回目の交流会を予定しているが、2月の実施は正直大変である。今年のように雪がなければいいのだが、雪が積ると地域住民は高齢の方も多いのでふれあいセンターまで集まるのも大変。雪によって急に中止となってもその連絡も難しい。今後も交流会など拓陽の活動に協力はしていきたいが、冬季は避けて秋くらいまでの時期に計画していただけるとありがたい。

(3) 令和6年度の日程について

副校長：今年度の運営協議会は3月の予定で最終となるが、第1回的时候に確認したとおり、紙面での開催となる。次年度の経営計画等について、後ほど郵送でお届けする。令和6年度についても今年度並みの日程で年間4回（1回目：5～6月、2回目：8月、3回目：1月、4回目：3月紙面開催）を予定している。それでよろしいか。開催日の設定に関わり、曜日指定等何か要望があればご意見をいただきたい。
→特に意見は出ず、提案のとおり承認。

(4) その他・・・特になし

5 提言

A委員：今年度も拓陽との交流を通して共同学習、体験学習の充実がみられた。高等部の生徒に本校の清掃に来てもらったが、態度面・作業の質ともに素晴らしかった。知り合いに拓陽生徒の実習先の店長がおり、実習について「(生徒は)とても立派だった。また(実習を)受け入れたい。」と話していた。今後も体験活動を通して生きる力を育んでほしい。

B委員：当協議会では福祉作文の取り組みなどで障がい者等に関する啓発もしているところだが、能登地震の被害状況を見て、久慈も防災教育・防災体制の強化が必要だと改めて感じた。福祉の村は地域の避難場所にも指定されている。みんなが安心安全な避難場所として機能するよう地域としても防災体制の強化に努めたい。

C委員：花いっぱい運動に関わり、三角花壇・市民センター入り口花壇の整備を今後もぜひ継続してもらいたい。他にも何か行事などで一緒に取り組めるよう協力していきたい。

D委員：最近よく話題に出るヘラルボニーの松田さんと知り合いだが、彼は新しいことにど

んどんチャレンジをする方である。そういった方も活用しながら、柔軟な発想で教育活動を広げていくと、学校の情報発信にもつながるのではないかと。どんどん民間ともつながりを広げていくのもよいと思う。

E委員：今後も町内会で協力できるところは協力していきたいと考えている。

6 連絡

校長：これまでコロナ禍により入学式や卒業式などの儀式で来賓としてご案内することを控えていたが、今年度の卒業式（3月14日）ではぜひご案内したいと思う。後日改めて案内を差し上げる予定であるが、あらかじめお知らせしておく。

本日も様々なご意見をいただき、「なるほど」と納得させられることがたくさんあった。今後も地域の皆さんと協力して教育活動を進めていきたい。

7 閉会（事務長）